



楽しきかな、シニアライフ
こんな活動、あんなグループ



特定非営利活動法人

日本ガーディアン・エンジェルス 和歌山支部

おそろいの赤いベレー帽に白いTシャツ、赤いジャケットをはおったグループが毎週土曜日、JR和歌山駅～アロチ方面をパトロールしています。彼らの名前は「ガーディアン・エンジェルス」、街を守る「守護天使」。パトロールに同行してお話を伺いました。

この街をきれいに、気持ちよく暮らせるように。

始まりはニューヨーク

1979年ニューヨークで、13人の若者が街の治安を守ろうと自主的に地下鉄のパトロールをしたのが始まりです。その後、麻薬撲滅キャンペーンで全米各地に広まりました。

日本支部は阪神淡路大震災がきっかけ

日本では、1995年5月東京支部が設立されて活動が始まり、落書き消しや市民防犯パトロールなどの全国的な運動へのきっかけとなりました。現在全国で25の支部が活動中です。

和歌山支部の誕生

1999年12月。武道教室を主宰していた指導者が中心となって設立されました。登録メンバーは10人前後。1回の活動には5～6人が参加しています。



パトロール ▶ 12月16日(土)20:00～ JR和歌山駅西口 ▶ 向之芝公園 ▶ アロチ ▶ JR和歌山駅東口



武器は一切携帯しません。出発前にお互いに持ち物を確認します。

人々が安心して暮らせる街をつくるために、見て見ぬふりをしないで行動する声掛け挨拶がパトロール中の主な活動です。忘年会シーズンのこの時期には、飲みすぎた方への対応をすることもああるそうです。

まずは駅前のゴミ拾いと自転車整理。その間もすれ違う人に「こんばんは」と声を掛けていきます。



▶ このあと、公園トイレ内の不審物チェック、違法なチラシのチェックなどをしながらパトロールが続けられました。

メンバーは・・・

お互いに、ニックネームで呼び合います。ダグラス、ウィスキー、ロイ、ニシ、キーマン、マザーの6人プラス見学者がこの日のメンバーでした。護身術の練習はパトロール以外の日に行いますが、格闘技の経験は必要ありません。腕力で人を押さえつけることが目的ではないからです。街の人に声をかけることでコミュニケーションを取りながら、信頼関係を築いていきます。メンバーに「こんばんは」と声を掛けられた人は面くらいながらも「こんばんは」と返してくれます。「ご苦労さまです」と声を掛けてくれる人もいます。

メンバーはみんな仕事を持っている、あるいは学生、と自分の本来の職業を持っています。メンバーになるための条件は、16歳以上であること(未成年者は保護者の承諾が必要)。老若男女は関係ありません。街をよくしよう、人のために奉仕しようという意欲があればOKです。

今は、救急救命の技術を身につけること、AED(自動体外式除細動装置)の講習を受けることも全員の目標としています。

今後、メンバーが増えたら、2チームでのパトロールなど、活動を充実させたいとリーダーのダグラスが話してくれました。

日本ガーディアン・エンジェルス 和歌山支部

入会金 1,000円、年会費 3,000円
(年会費にはボランティア保険加入料金等が含まれています。)

▶ お問い合わせ・・・

松岡 TEL(090)7130-9800